

Q： 食料品から放射性ヨウ素と放射性セシウム 137 が検出と報じられ大騒ぎしていますが、体内に入ってしまった場合どうなるのですか？

A： 放射線にはいろいろの元素から放射されますが、食料品からの検出は放射性ヨウ素とセシウム 137 が検出されたという報道ばかりです。

放射性物質は時間の経過とともに放射線量が減少していき、最初の不安定な状態から放射線を出しながら、次第に安定的になっていきます。

放射性ヨウ素 131 の場合、半減期、放射線が放出される量が半分になるのが期間が約 8 日で、8 日毎に毎に半分になる計算になります。8 日で半分、次の 8 日で零になると誤解しないで下さい。

8 日で半減(50%)し、次の 8 日経過でその半分、つまり最初の 1/4、それを繰り返すと 80 日で約 1/1000、160 日で 1/100 万、限りなく零になります。

一方、放射性セシウム 137 は、半減期が 30 年、これが体内に入って 30 年も居座ると大変なことになると恐怖ですが、実際は体内に入っても尿や便で体外に排出され、70 日から 100 日位で半分以下になると言われています。

しかし、その期間中は体内で放射線を出し続けるのですから矢張り危険です。

